

病床の転換について

令和5年9月 昭和伊南総合病院

- 1 昨年度時点では、現在の病棟・病床構成は、新病院建設時（R9・2027年度予定）まで変更のない予定でした。しかしこの間の患者動向や看護師配置の効率性等を踏まえて病棟構成について検討をしてきた結果、10月より、現在のコロナ専用病棟（急性期病棟）を地域包括ケア病棟の一部とするよう病床転換を行うこととしました。
- 2 これにより、稼働病床の病期別では、急性期が26床減床、回復期が26床増床となります。許可病床・稼働病床の総数は変更ありません。
- 3 今後のコロナ入院の受入れについては、これまでと同様の対応をしていきます。
- 4 令和9年度に予定される新病院の開院時における機能別の病床数は、予定に変更はありません。

【許可病床数】

病棟別	病期別	現状			R5.10.1変更			変更後		
		病棟	病床	病期	病棟	病床	病期	病棟	病床	病期
HCU病棟	高度急性期	1	42	42		3	3	1	45	45
急性期一般病棟	急性期	4	191	191	▲ 1	▲ 31	▲ 31	3	160	160
地域包括ケア病棟	回復期	1	32	67		28	28	1	60	95
回復期リハビリテーション病棟		1	35			1		35		
合計		7	300	300	▲ 1			6	300	300

【稼働病床数】

病棟別	病期別	現状			R5.10.1変更			変更後		
		病棟	病床	病期	病棟	病床	病期	病棟	病床	病期
HCU病棟	高度急性期	1	12	12				1	12	12
急性期一般病棟	急性期	4	160	160	▲ 1	▲ 26	▲ 26	3	134	134
地域包括ケア病棟	回復期	1	32	67		26	26	1	58	93
回復期リハビリテーション病棟		1	35			1		35		
合計		7	239	239	▲ 1			6	239	239

※参考：新病院開院時予定（許可・稼働）

全 199 床（高度急性期 8 床、急性期 125 床、地ケア 35 床、回リハ 31 床）